

履修規則別表第4

卒業認定に必要な単位数

■生命物質科学域

(2017)

授業科目区分 課 程		全学共通科目														専門教育科目										総合計	備考		
		言語教育科目			人間教養科目											専門導入科目	専門基礎科目				課程専門科目							専門教育科目合計	
		英語必修	選択	言語教育科目合計	工学科学入門	科学技術と環境・倫理	ものづくりと技術戦略	リーダーシップと経営戦略	京の伝統文化と先端	工学科学教養科目合計	人と社会	人と文化	人と自然	基本教養科目合計	体の科学	人間教養科目合計(注4)	必修	必修	選択必修	選択	専門基礎科目合計	必修	選択必修	選択	卒業研究・卒業プロジェクト必修			課程専門科目合計	
応用生物学課程	一般プログラム	6		12			2	2	10	2	2	2	6		22	2	8	22		30	17	20		8		90	134*	*を付した単位数には、合計10単位を限度として、特に科目を指定せず、修得単位を含めることができる。	
	地域創生Tech Program						3									17					20	8							
生体分子応用化学課程	一般プログラム	6		12			2	2	10	6				6	22	2	16	18		34	12	A群14	B群12		8		90	134*	*を付した単位数には、合計10単位を限度として、特に科目を指定せず、修得単位を含めることができる。
	地域創生Tech Program						3									14						26	8						
高分子機能工学課程	一般プログラム	6		12			2	2	10	2	2	2	6		22	2	12	22		34	12	A群12	B群12		8		90	134*	*を付した単位数には、合計10単位を限度として、特に科目を指定せず、修得単位を含めることができる。
	地域創生Tech Program						3									15					A群4	B群4	8						
物質工学課程	一般プログラム	6		12			2	2	10	2	2	2	6		22	2	24	10		34	14	A群10	B群10		8		90*	134**	1. *を付した単位数には、合計6単位を限度として、他課程（他学域を含む）の課程専門科目から修得した単位を含めることができる。 2. **を付した単位数には、合計10単位を限度として、特に科目を指定せず、修得した単位を含めることができる。
	地域創生Tech Program						3									20					A群6	B群6	8						

- 注1. 表中の数字は、最低限必要な修得単位数を示す。
 2. 教職関係科目及び学芸員科目は、総合計には含まれない。
 3. 専門基礎科目の知的財産に関する授業科目は、一般プログラムにおいては、総合計には含まれない。
 4. 「人間教養科目合計」には、3大学（京都工芸繊維大学、京都府立大学、京都府立医科大学）連携教養教育に係る単位互換制度で修得した単位を含めることができる。

履修規則別表第4

卒業認定に必要な単位数

■設計工学域

(2017)

授業科目区分 課 程		全学共通科目														専門教育科目										総合 合計	備考			
		言語教育科目			人間教養科目											専門 導入 科目	専門基礎科目				課程専門科目				専門 教育 科目 合計					
		英語 必修	選択	言語 教育 科目 合計	工学 科学 入門	科学 技術 と 環境 ・ 倫理	もの づくり と 技術 戦略	リー ダー シップ と 経営 戦略	京の 伝統 文化 と 先端	工学 科学 教養 科目 合計	人 と 社会	人 と 文化	人 と 自然	基本 教養 科目 合計	体 の 科学	人間 教養 科目 合計 (注4)	必修	必修	選択 必修	選択	専門 基礎 科目 合計	必修	選択必修					選択	卒業 研究 ・ 卒業 プロ ジェ クト 必修	課程 専門 科目 合計
電子システム工学課程	一般 プログラム	6		12			2	2	10	2	2	2	6		22	2	8	12		22	24	32				8		90	134 *	*を付した単位数には、合計10単位を 限度として、特に科目を指定せず、修得 単位を含めることができる。
	地域創生 Tech Program															3					14	40								
情報工学課程	一般 プログラム	6		12			2	2	10	2	2	2	6		22	4	4	10 (†)		22	20	24				8		90	134 *	*を付した単位数には、合計10単位を 限度として、特に科目を指定せず、修得 単位を含めることができる。 (†)地域創生TechProgramにおいては、 数学科目から6単位以上修得すること。
	地域創生 Tech Program															5					18	26								
機械工学課程	一般 プログラム	6		12		☆A より	☆B より	2	2		2	2	2	☆C より	22	2	8	14		24	31				25	8		90	134 *	*を付した単位数には、合計10単位を 限度として、特に科目を指定せず、修得 単位を含めることができる。
	地域創生 Tech Program															2					2	4	3	35	20					
デザイン経営工学課程	一般 プログラム	6		12			2	2	10	2	2	2	6		22	2	2	16	12 単位 を超 えて 卒業 要件 に加 算で きな い	18	14	☆A より	☆B より	20	8		70	134 *	*印を付した単位数には、合計30単位 を限度として、次の修得単位を含めるこ とができる。 1. 全学共通科目ならびに大学間協定に 基づく単位互換制度で修得した単位。 2. 専門基礎科目（選択必修・選択）・ 課程専門科目・他課程専門科目。 ※ただし、1については、合計10単 位を限度とする。	
	地域創生 Tech Program															3					16	4	4	☆ より 17						

注1. 表中の数字は、最低限必要な修得単位数を示す。
2. 教職関係科目及び学芸員科目は、総合計には含まれない。
3. 専門基礎科目の知的財産に関する科目は、電子システム工学課程、情報工学課程、機械工学課程の一般プログラムにおいては、総合計には含まれない。
4. 「人間教養科目合計」には、3大学（京都工芸繊維大学、京都府立大学、京都府立医科大学）連携教養教育に係る単位互換制度で修得した単位を含めることができる。

履修規則別表第4

卒業認定に必要な単位数 ■造形科学域

(2017)

授業科目区分 課 程		全学共通科目													専門教育科目											総合計	備考				
		言語教育科目			人間教養科目									専門 導入 科目	専門基礎科目				課程専門科目					専門 教育 科目 合計							
					工芸科学教養科目					基本教養科目									体 の 科学	人間 教養 科目 合計 (注4)	必修	必修	選択 必修		選択			専門 基礎 科目 合計	必修	選択必修	
		英語 必修	選択	言語 教育 科目 合計	工芸 科学 入門	科学 技術と 環境・ 倫理	もの づくりと 技術 戦略	リー ダー シップ と 経営 戦略	京の 伝統 文化と 先端	工芸 科学 教養 科目 合計	人と 社会	人と 文化	人と 自然	基本 教養 科目 合計	A	B	C	D													
デザイン・建築学課程	一般 プログラム	6		12			2		10	2	2	2	6	22	4											4				6	6
	地域創生 Tech Program						4							5		4				6						8					

- 注1. 表中の数字は、最低限必要な修得単位数を示す。
2. 教職関係科目及び学芸員科目は、総合計には含まれない。
3. 専門基礎科目の知的財産に関する授業科目は、一般プログラムにおいては、総合計には含まれない。
4. 「人間教養科目合計」には、3大学（京都工芸繊維大学、京都府立大学、京都府立医科大学）連携教養教育に係る単位互換制度で修得した単位を含めることができる。